

プログラム

会場別プログラム

大会1日目：9月24日（土曜日）

第1会場（北棟3階 344）

開会式 10：55

大会長：鈴木 玲子（埼玉県立大学看護学科 教授）

口頭発表 11：00～12：05

座長：梅村 美代志（聖徳大学看護学部 准教授）

羽鳥 健司（埼玉学園大学人間学部 准教授）

O-1 看護師版感情対処傾向尺度作成の試み

- 金子 多喜子（杏林大学・筑波大学）、
森田 展彰（筑波大学）、大谷 保和（筑波大学）、
斎藤 環（筑波大学）、伊藤 まゆみ（共立女子大学）、
関谷 大輝（東京成徳大学）

O-2 仲間集団との関わりが持つ意味と影響

—日本人とミャンマー人の比較から見える支援へのパースペクティブ—

- 関谷 大輝（東京成徳大学応用心理学部）、
ナン カンキン（東京成徳大学応用心理学部）

O-3 福祉事務所支援員による再登校のための家庭訪問支援モデルの生成

- 中村 恵子（東北福祉大学総合福祉学部）

O-4 対人援助職者の職業生活出来事に対する社会的共有行動が感情状態に与える影響

—マルチレベルモデルを用いた分析—

- 森本 寛訓（川崎医療短期大学一般教養）

O-5 慢性的な痛み症状の緩和へと至る心理的プロセスの検討

- 栗原 里美（東京成徳大学学生相談室）、
石村 郁夫（東京成徳大学応用心理学部）

第2会場（北棟3階 345）

基調講演 13：20～14：20

座長：鈴木 玲子（埼玉県立大学看護学科 教授）
木村 登紀子（いちかわ野の花心理臨床研究所 所長）

アイデンティティ論からみたプロフェッションの生成と深化

—「人」と「専門性」をどう育てるか—

演者：岡本 祐子 氏（広島大学大学院教育学研究科 心理学講座 教授
教育学研究科附属心理臨床教育研究センター長）

第3会場（北棟3階 346）

共同シンポジウム 15：40～17：40

座長：萱場 一則（埼玉県立大学 副学長）
清水 裕子（香川大学医学部 教授）

多職種連携の醍醐味と地域包括ケアへの展望

演者：伊藤 善典 氏 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 教授
鶴岡 優子 氏 つるかめ診療所（医師）
池上 昌子 氏 福祉のニッカ 介護相談室管理者（介護支援専門員/看護師）
前園 徹 氏 AMG 地域健康推進研究所 所長（理学療法士）
中村 恵子 氏 東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科 准教授

第4会場（北棟1階 メディアギャラリー）

奇数番号発表時間：14：30～15：00

偶数番号発表時間：15：00～15：30

ポスター発表 14：30～15：30

- P-1 カンボジアの首都近郊地区における学校保健衛生の現状と課題
—NGO ウドンハウスのA小学校における活動を通して—
- 山本 麻理奈（香川大学医学部）、
清水 裕子（香川大学医学部）、
楠川 富子（NGO UDON Project in Cambodia）、
Thearith Bun（NGO UDON Project in Cambodia）、
Savuth Sann（NGO UDON Project in Cambodia）
- P-2 子どもたちの「生きる意欲」とその背景要因
—いのちについて語ることの大切さ—
- 伊藤 美奈子（奈良女子大学）
- P-3 災害発生後の思考変容過程における被災者と第三者の差異
—東日本大震災直後以降のツイッタの分析—
- 尾崎 光紗（桜美林大学大学院）、
藤澤 伸介（跡見学園女子大学）
- P-4 入院中の終末期患者における蒸気布褌法の効果
- 清水 裕子（香川大学自然生命科学系）、
大西 知佳（香川大学医学系研究科看護学専攻）
- P-5 Twitterを用いた筆記表現法が主観的幸福感へ及ぼす効果—中間報告—
- 竹内 大樹（埼玉学園大学心理研究科臨床心理学専攻）、
羽鳥 健司（埼玉学園大学心理学研究科）

- P-6 フォーカシング指向心理療法による扱えなかった問題の扱い方
—強いこだわりをもつ成人男性との面接過程から—
○ 小泉 隆平（近畿大学総合社会学部）
- P-7 日常への感謝の表明が感情変化に及ぼす効果
—起こった事への感謝と今ある事への感謝の比較：中間報告—
○ 羽鳥 健司（埼玉学園大学人間学部）
- P-8 強みの発展プログラムの開発およびその効果の検討
—パフォーマンス，活力感，意味付けの側面から—
○ 駒沢 あさみ（東京成徳大学大学院）、
石村 郁夫（東京成徳大学応用心理学部）
- P-9 中高年女性版減量に伴う意思決定バランス尺度短縮版の作成
○ 井上 真弓（松蔭大学看護学部）、
清野 純子（帝京科学大学医療科学部）、石川 利江（桜美林大学）
- P-10 発達障がいの可能性のある看護学生に対する臨地実習指導に関する研究
○ 大野 美千代（淑徳大学看護栄養学部）
- P-11 看護師の個人特性（経験年数・所属部署）が看護師のビリーフに与える影響
○ 清野 純子（帝京科学大学医療科学部）、
井上 真弓（松蔭大学看護学部）、石川 利江（桜美林大学）
- P-12 看護師のがん患者の倦怠感の捉え方に関する研究
○ 野間 雅衣（広島国際大学看護学部）、
山崎 登志子（広島国際大学看護学部）
- P-13 初心者カウンセラーを対象とした IPR トレーニングの意義に関する質的研究
○ 田中 寿夫（淑徳大学大学院総合福祉研究科）、
神 信人（淑徳大学総合福祉学部）

- P-14 中学生のインターネット利用における依存的心性に関する研究
—個人要因と対人関係,精神的健康の視点から—
○ 宮戸 悠貴 (埼玉学園大学臨床心理カウンセリングセンター)、
小玉 正博 (埼玉学園大学人間学部)
- P-15 職場での人間関係ストレスに関する検討 (第1報)
—女性勤労者の職場での人間関係ストレスの様相—
○ 柴田 恵子 (横浜創英大学看護学部)
- P-16 職場での人間関係ストレスに関する検討 (第2報)
—女性勤労者の職場での人間関係ストレスコーピングの様相—
○ 柴田 恵子 (横浜創英大学看護学部)
- P-17 温めるケアによる皮膚温度・イメージの比較
○ 榊原 智子 (香川大学医学部)、
清水 裕子 (香川大学医学部)、山本 麻理奈 (香川大学医学部)
- P-18 術後の食におけるQOLに関する文献検討
○ 森山 明美 (埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科)
- P-19 非喫煙者のキャンパス内全面禁煙に対する印象と喫煙認識および行動との関係
—東北大学における調査から—
○ 片山 富美代 (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部)、
大北 全俊 (東北大学大学院医学系研究科)、
工藤 成史 (東北大学大学院工学研究科)
- P-20 一時保護所職員へのバーンアウトを予防する児童への態度の検討
○ 阪無 勇士 (東京成徳大学大学院心理学研究科)、
石村 郁夫 (東京成徳大学応用心理学部)

- P-21 メンタルヘルスリテラシー向上を目的としたプログラムの効果
—諸要因を用いた群分けによる検討—
- 佐藤 修哉 (東京成徳大学大学院心理学研究科・日本学術振興会特別研究員 PD)、
 - 内田 知宏 (尚絅学院大学人間心理学科)、
 - 安保 英勇 (東北大学大学院教育学研究科)、
 - 上埜 高志 (東北大学大学院教育学研究科)
- P-22 大学生の就職活動困難感に対する探索的研究
—就職活動経験者と就職支援者に対する調査—
- 原 瑞穂 (山梨大学)、
 - 小玉 正博 (埼玉学園大学)
- P-23 児童養護施設における性的問題の実態に関する研究
—基本データの報告—
- 石川 智 (杏林大学医学部)
- P-24 ストレスフルな体験後のポジティブな変化の分類の試み
—Posttraumatic Growth の観点から—
- 千葉 柊作 (東北大学教育学研究科)
- P-25 がん体験者のレジリエンスに影響を与える要因
- 大場 良子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)
- P-26 アルコール依存症者の女性と男性の飲酒理由について
—アルコール関連冊子の症例からの検討—
- 大野 順子 (日本医療科学大学保健医療学部)、
 - 石川 利江 (桜美林大学大学院国際学研究科)

大会2日目：9月25日（日曜日）

北棟3階 346

研修会 10:00～12:00

司会：小玉 正博（埼玉学園大学人間学部 学部長）

ヒューマンケアにおける実証研究を支える調査法 A to Z

講師 小塩 真司 氏（早稲田大学 文学学院 教授）

閉会式 12:00～

大会長：鈴木 玲子（埼玉県立大学看護学科 教授）

